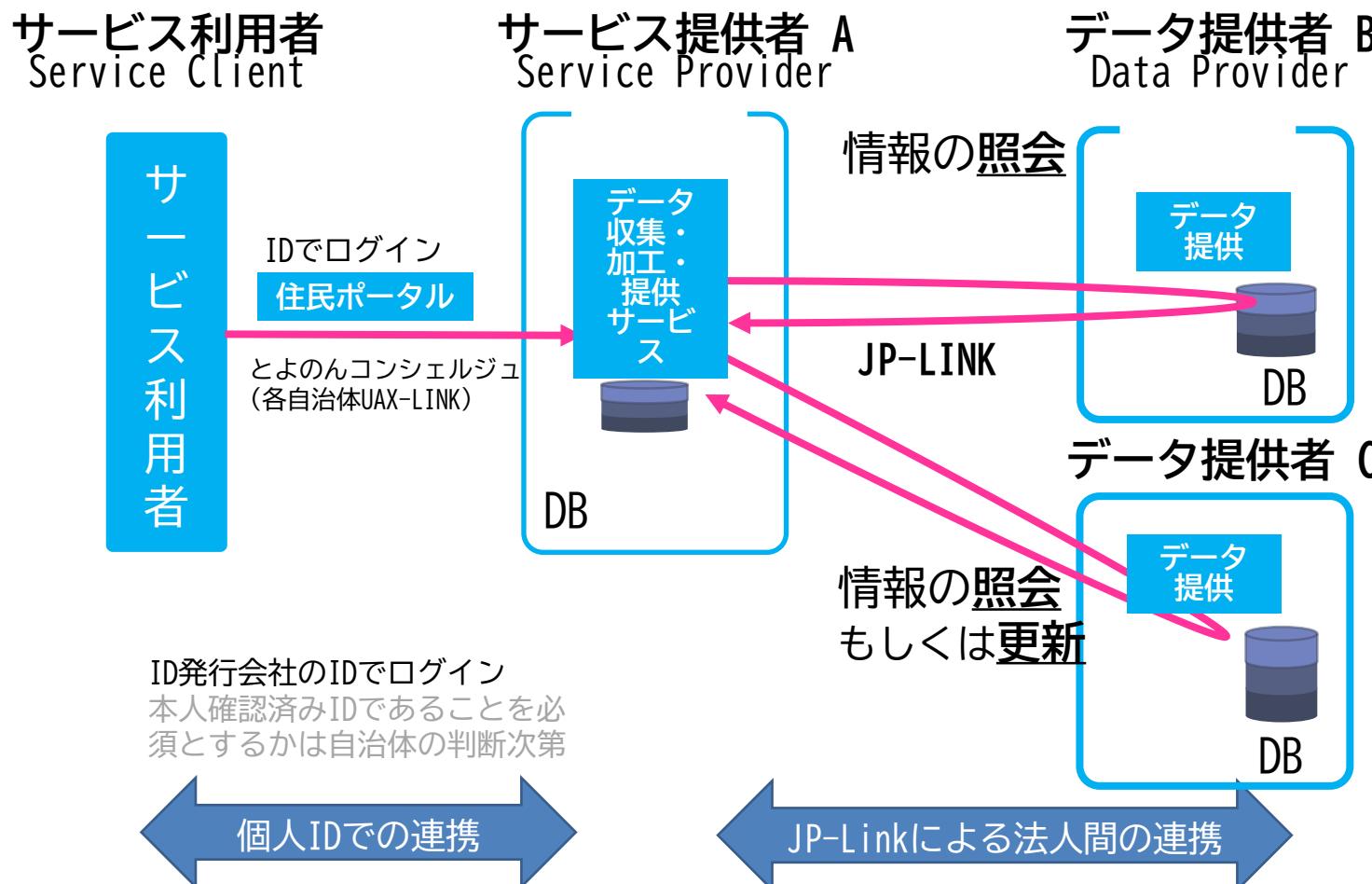


JP-Linkは法人間・組織間のデータ連携を実現

Q1

サービス利用者・個人・住民：ポータルにアクセスして情報照会（個人IDで個人を認証、サービスを利用）
サービス提供会社：サービスを提供。JP-LINK(Security Server)を通じてデータ提供会社へ照会



JP-Linkの役割：

法人間・組織間のデータ連携を実現
その際に法人の存在性を証明する法人の電子証明書、時刻の証明をするタイムスタンプサーバーを用い、セキュアな通信で実現

Personal-LINKの役割：

個人の情報は各個人および各組織にて管理
各個人の情報を紐づけつつ許諾に基づくデータ連携をID連携およびPersonal-LINKで実現

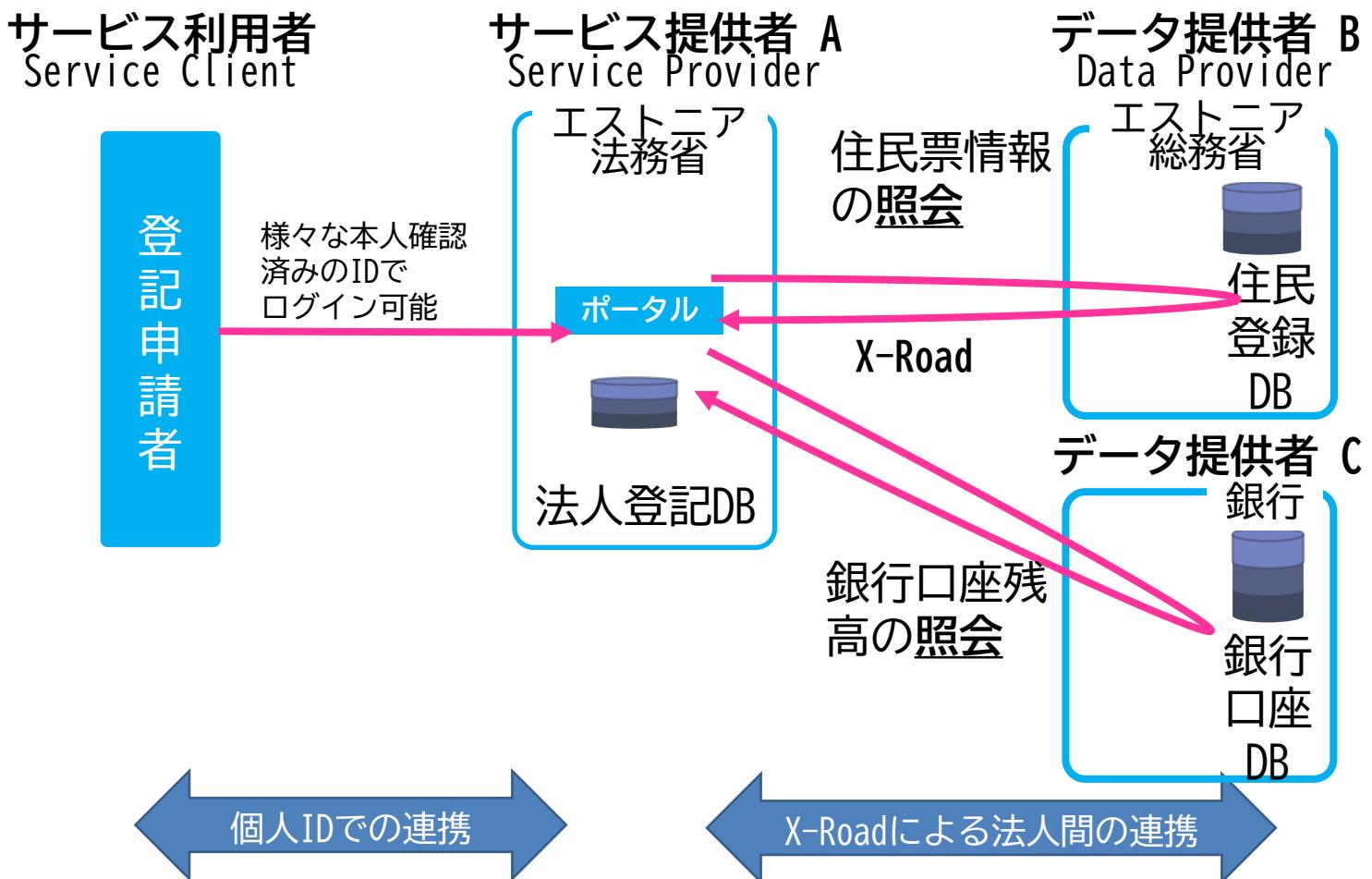
UAX-Linkの役割：

住民の皆様が用いる各自治体向けのアプリのおまとめ・入口のポータル
豊能町向けにはとよのんコンシェルジュ

登記申請者：法人登記ポータルにアクセスして申請

法務省：法人登記ポータルを運営、サービス

法務省：住民票、銀行口座残高をX-Roadを通じてデータプロバイダーへ照会（データプロバイダーは総務省と銀行）



（個人IDと個人の認証、署名を利用）

（サービスプロバイダーは法務省）

参考：
エストニアには「once only
(一度きり)」という原則があり、同じ情報を複数個所に入力させず、保存された一か所に対して、アクセスが許可された人や組織が参考することで無駄にコピーや同期の手間をとらずに正確な情報の利活用をするという方針があります。